

謹んで新年のお慶びを 申し上げます

明けましておめでとございます。
2010年を迎え、心より新年の
ご挨拶を申し上げます。
昨年は、国内外で新型インフルエン
ザが猛威をふるい、感染対策・予防
について改めて考えさせられた年だっ
たのではないのでしょうか。

また、医療をめぐる環境はますます
厳しさを増し、全国の自治体病院
は最悪の状態に陥っております。しか
し、どのような社会情勢になろうと
も、中東遠地域の中核病院として、
「愛365日」の精神で、この地域の
皆様に満足と安心を与えることので
きる、より質の高い医療の提供に努め
ていきたいものと存じます。

昨年の業務を振り返って

昨年3月に平成21年から25年ま



質の高い医療の 提供のために

院長 五島一征

での掛川市立総合病院経営改善計
画改革プランを策定しました。改革
プランにより、経費削減・抑制、収入
増加・確保、医師・看護師の確保な
ど二層の取組みを始めました。

また、昨年4月以降の入院患者さ
んから、医療の質の向上や透明化を
図るために、DPC（診断群分類別
包括評価支払制度）の導入を開始し
ました。

病院経営を取り巻く医療環境は
依然厳しい状況ではありますが、本
年も病院職員一同、より一層の経営努
力を行うて参ります。

新病院へ向けて

当院がこの場所へ建てられてから、
本年度25年が経ちます。建物のみ
ならず、医療の高度化による設備面
での老朽化が目立ち、さらに当院の
医師不足も全国の例にもれず深刻で
あります。

また建て替えを行うにしてもこの
地域の医療レベルの維持には、当院ひ
とつでは大変難しい状況であります。

そのような中、同じく建て替えの
時期にある隣市の袋井市立袋井市
民病院との統合、周辺自治体病院と
の連携が提言されました。

その提言や市議会での議論を踏ま
え、「掛川市・袋井市新病院建設協
議会」が11回にわたり開催され、昨
年に新病院の建設に向けた合意がな
されました。昨年1月8日には、掛

川市、袋井市の両市長による「新病院
建設に関する協定書」が締結され、
4月1日には掛川市・袋井市新病
院建設準備会がスタート。7月17日
には、「掛川市・袋井市新病院建設
事務組合」が、両市議会での議決を
経て設立されました。

新病院の建設の準備が着々と進む
中、新病院では、現在不足が著しい医
師・看護師のみならず、当院で働く
全ての職員が専門的な医療や勉強の
できる環境と、働きがいをもてる病院
にしていかなければなりません。その
ためには多くの皆様のご意見とご協
力、ご理解をお願い申し上げます。

今年の病院

皆様から寄せられる当院への期待
は、今後もさらに高まっていくものと
思われます。

当院は本年も、掛川市および周辺
市町の二次救急病院、そして急性期
の医療機関として、高度で安心できる
医療を皆様に提供していくとともに
、地域内の開業医院との連携を大
切に皆様の信頼を深めていきたいと
考えております。

多くの診療科で医師が不足し、皆
様にはご迷惑をおかけしておりま
す。医師確保には最大限の力を注ぎ
ながら「愛365日」の心で、優れた
医療を提供していきます。

本年もよろしくご支援のほどお願
いたします。